

# 例：統合失調症の前駆期・急性期治療としてのデイケアプログラム

東邦大学医療センター大森病院 メンタルヘルスセンター

## 「イルボスコ」デイケア

### 1) スタッフ

- ・常勤3名(看護師、精神保健福祉士、作業療法士)
- ・兼任2名(精神科医師、臨床心理士)

### 2) 利用者

- ・年齢：15歳～30歳
- ・疾患：ARMSまたは統合失調症初回エピソード
- ・期間：現時点では1年間

### 3) プログラムの特徴

- ・認知行動療法を軸とした心理社会的アプローチ
- ・認知機能トレーニングを軸とした生物学的アプローチ

例：①ツールやゲームを用いた認知機能トレーニング  
②ロールプレイやシートを用いた対人関係技能の習得及び向上  
③疾病管理・生活支援  
④集団体験を目的としたグループワーク

## 4) 内容

- ・プログラムの参加
- ・個別就労
- ・家族会
- ・包括的地域ケア(OTP)
- ・就学支援
- ・連携ミーティング
- ・個別面接
- ・家族面接

## 5) 成果

利用者47名中

### ○ 既に1年間の利用が終了した者・・・23名(複数回答)

- ・就学継続、学校合格 12名
- ・アルバイト、復職 8名
- ・休職・休学 2名
- ・所属なし 8名

### ○ QOL26

	利用開始時	6ヶ月経過時	
	平均値(SD)	平均値(SD)	
平均	2.9(0.39)	3.22(0.68)	*
身体	2.91(0.54)	3.26(0.71)	*
心理	2.53(0.48)	2.99(0.92)	*
社会	3.02(0.64)	3.38(0.59)	*
環境	3.18(0.68)	3.32(0.67)	n.s.
全体	2.65(0.69)	2.92(0.86)	n.s.

\* p<0.05

# 例：デイケアの「復職プログラム」(1)

NTT東日本 関東病院 精神神経科

○対象者：会社に在籍し、病休もしくは休職している者

○プログラムの目的：

(1)生活リズムの改善

「朝から活動出来る生活リズム作り」と「通勤訓練」

(2)仕事に必要なとされる基礎能力の改善

色々な課題や種目を通して、集中持続性や判断力、ストレス耐性や問題解決能力などの感覚をもどしていく。

(3)より円滑な対人交流の習得

グループや集団認知療法などを通して、対人交流について振り返ったり、学んだりしていく。

・併せて再発予防の心理教育的アプローチを行う。

	月	火	水	木
午前 9:30～	パソコン	軽スポーツ 集団認知 療法	グループ	パソコン

# 例：デイケアの「復職プログラム」(2)

## ささがわ通り 心・身クリニック(三重県四日市市)

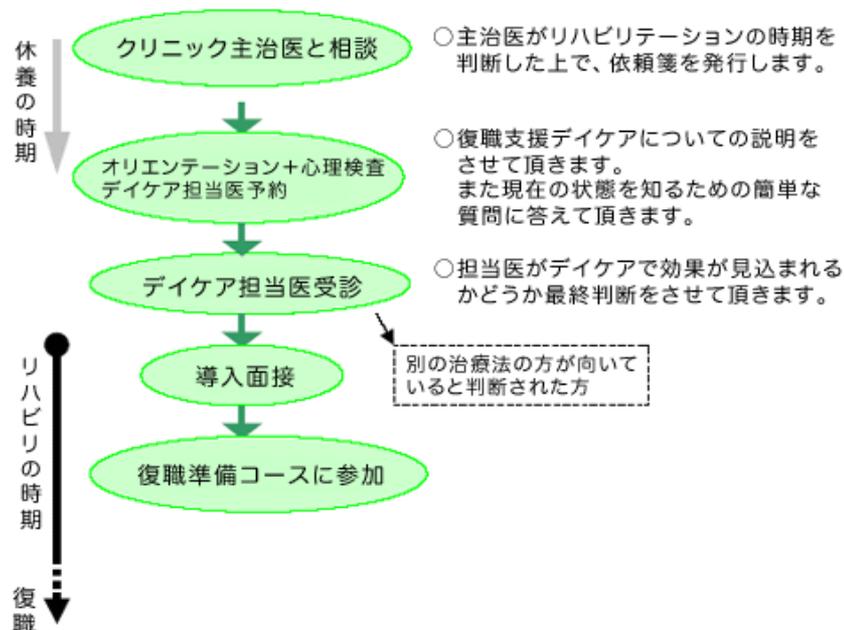
### ○復職準備コース

うつ病による休業者のための復職支援デイケア  
 オフィスワーク・心理教育・認知療法などのプログラムをリハビリテーションとして行なう。

#### 対象者

- ・うつ病で現在会社を休んでいて、復職を目指している者
- ・リハビリテーションにて復職が見込まれる者
- ・少なくとも週2回(9:00~15:00)来所でき、プログラムに参加できる者
- ・その他デイケアを利用する上で、支障がない者

以上の条件が満たし、かつデイケア担当医に必要と判断された者のみ利用できる。



	月	火	水	木	金
AM	オフィスワーク フィールドワーク	オフィスワーク	ウォーキング	グループ認知療法 うつ病心理教育	うつの研究会 オフィスワーク
PM	インドアスポーツ	ヨガ(DVD) & ジム	職場道場 (ロールプレイ) オフィスワーク	ヨガ(外部講師)	オフィスワーク 定期面接・ 週間振り返り

# デイケア等において実施されるリワーク(復職支援)プログラム

## 「プログラムの目的(複数回答)」

	リワーク専門施設	リワーク非専門施設
自己理解(モニタリングを含む)や疾病理解	28.6 %	24.2 %
対人関係スキル	19.6 %	19.0 %
再発・再休職予防を目指したセルフケアの獲得	16.9 %	15.0 %
思考や行動パターンの修正	7.9 %	11.8 %
基礎体力の回復	7.4 %	9.2 %
モチベーションを高める/職業場面の再現	6.3 %	2.6 %
PCや業務関連のスキル向上	5.8 %	7.2 %
その他(リラクゼーション、復職準備性)	7.4 %	14.4 %

※回答施設の内訳: 全37医療機関(デイケア 30施設、精神科作業療法 2施設、通院集団精神療法 5施設)

## デイ・ケア以外の精神科専門療法

### 1) 入院生活技能訓練療法

100点(入院から6月以内)、75点(入院から6月を超えた期間)

入院生活技能訓練療法とは、入院中の患者であって精神疾患を有するものに対して、行動療法の理論に裏付けられた一定の治療計画に基づき、観察学習、ロールプレイ等の手法により、服薬習慣、再発徴候への対処技能、着衣や金銭管理等の基本生活技能、対人関係保持能力及び作業能力等の獲得をもたらすことにより、病状の改善と社会生活機能の回復を図る治療法をいう。

- 看護師(准)、作業療法士1人及び精神保健福祉士等1人(計2人以上)の者が実施。
- 患者1人当たり1日につき1時間以上実施した場合に限り、週1回を限度として算定できる。
- 複数の患者を対象として行う場合には、1回に15人以内を限度とする。

※同一日に行う他の精神科専門療法は、別に算定できない。

### 2) 精神科作業療法 220点(1日につき)

精神科作業療法は、精神障害者の社会生活機能の回復を目的として行うものである。

- 実施時間は患者1人当たり1日に2時間を標準とする。
- 1人の作業療法士につき、1日2単位50人(1単位は概ね25人)以内の患者数を標準とする。
- 治療上の必要があれば病棟や屋外など専用施設外において実施できる。

### 3) 通院集団精神療法 270点(1日につき)

通院集団精神療法とは、入院中以外の患者(統合失調症、躁うつ等)に対し、一定の治療計画に基づき、集団内の対人関係の相互作用を用いて、自己洞察の深化、社会適応技術の習得、対人関係技術の習得等をもたらすことにより、病状の改善を図る治療法。

- 医師及び精神保健福祉士等1人以上(計2人以上)の者が実施。
- 1回に10人を限度とし、1日につき1時間以上実施した場合に、開始から6月に限り週2回を限度として算定できる。

※同一日に行う他の精神科専門療法は、別に算定できない。

### 4) 入院集団精神療法 100点(1日につき)

入院集団精神療法とは、入院中の患者(統合失調症、躁うつ等)に対し、一定の治療計画に基づき、言葉によるやりとり、劇の形態を用いた自己表現等の手法により、集団内の対人関係の相互作用を用いて、対人場面での不安や葛藤の除去、患者自身の精神症状・問題行動に関する自己洞察の深化、対人関係技術の習得等をもたらすことにより、病状の改善を図る治療法。

- 医師及び1人以上の精神保健福祉士又は臨床心理技術者等(計2以上)の者が実施。
- 1回に15人を限度とし、1日につき1時間以上実施した場合に、開始から6月に限り週2回を限度として算定できる。

※同一日に行う他の精神科専門療法は、別に算定できない。

# 精神障害者の現状

(総患者数 約303万人:平成17年患者調査)

精神科病院 約32万人

措置入院  
2,276人

医療保護入院  
118,069人

任意入院  
202,231人

その他入院  
1,759人

(H17. 6月末現在:精神・障害保健課調)

精神障害者  
保健福祉  
手帳所持者

442,728人  
(平成19年度末  
現在)

精神障害者社会復帰施設(入所)

生活訓練施設、入所授産施設入所者 : 5,085人  
(平成18年 社会福祉施設等調査)

退院患者 30,498人/月  
新規入院患者 31,501人/月  
(H17. 6:精神・障害保健課調)

地域

住

自宅(持家・借家)

グループホーム : 8,939人 ケアホーム : 3,469人 入所支援 : 194人(国保連データ速報(H21.2))

生活

訪問サービス

居宅介護 : 22,117人  
重度訪問介護 : 10人  
行動援護 : 13人  
重度障害者等包括支援 : 0人  
(国保連データ速報(H21.2))

訪問看護

医療機関 : 56,051件  
(H17年医療施設調査)  
ステーション : 12,777件  
(H19年精神・障害保健課調)

短期入所

586人  
(国保連データ速報(H21.2))

精神通院医療

約115万人  
平成19年度支給認定者数  
(精神・障害保健課調)

活動

雇用 1.3万人

(H15 障害者雇用実態調査)

職業訓練(平成18年度定例業務統計)

障害者職業能力開発校入校者数 57人  
一般の職業能力開発校入校者数 83人  
委託訓練受講者数 1258人

就労訓練・日中活動

(新体系サービス)

生活介護 : 741人  
自立訓練(機能訓練) : 12人  
自立訓練(生活訓練) : 2,384人  
就労移行支援 : 3,608人  
就労継続支援(A型) : 1,260人  
就労継続支援(B型) : 15,609人  
(国保連データ速報(H21.2))

(旧体系サービス)

通所授産施設 : 7,698人  
福祉工場 : 411人  
小規模通所授産施設 : 9,112人  
(H18 社会福祉施設等調査報告)

デイ・ケア等

(H18. 6月1か月間 精神・障害保健課調)

精神科デイ・ケア 58,552人/月 精神科デイ・ナイト・ケア 9,991人/月 精神科ナイト・ケア 2,391人/月

相談支援

全市町村で実施(自立支援協議会設置市町村数:50%)

# 日中活動・就労訓練等施設の状況

1)障害者自立支援法施設	事業所数	精神障害者利用者数
自立訓練(機能訓練)	165	12
自立訓練(生活訓練)	724	2,384
就労移行支援	1,277	3,608
就労継続支援(A型)	331	1,260
就労継続支援(B型)	2,562	15,609
計	5,059	22,873
2)精神障害者社会復帰施設	事業所数	精神障害者利用者数(推計)
精神障害者通所授産施設	154	約4,000
精神障害者小規模通所授産施設	111	約2,600
計	265	
3)法定外施設	事業所数	精神障害者利用者数
小規模作業所	2,671	—
合計	7,995	

1)国保連データ速報(H21. 3)

2)事業所数は社会福祉施設等調査(H21年4月1日速報)、精神障害者利用者数はこれに同調査(H18年)から算出した事業所1箇所あたりの平均利用者数を乗じて推計した。

3)厚生労働省障害保健福祉部企画課自立支援振興室調べ、平成20年4月時点で存続している事業所数